コンクリート技術の要点'24 正誤表

「コンクリート技術の要点'24」の記述につきまして、下表のとおり訂正いたします。

2025年9月19日 コンクリート技術講習委員会

<i>55</i>	D150		会口			
第 6	P152	表 6.3.2	誤	不良率	25%	5%
章		0.0.2		合格判定基準値f'cn	$\frac{1 - 1.282 V / \sqrt{n}}{1 - 1.674 V} \cdot f'_{ck}$	$\frac{1 - 1.282 V / \sqrt{n}}{1 - 1.645 V} \cdot f'_{ck}$
				標準養生	1.0×f′ck以上	1.1×f′ _{ck} 以上
			正	不良率	25%	5%
				合格判定基準値f'cn	$\frac{1 - 1.282 V / \sqrt{n}}{1 - 0.674 V} \cdot f'_{ck}$	$\frac{1 - 1.282 V / \sqrt{n}}{1 - 1.645 V} \cdot f'_{ck}$
				指定する呼び強度	1.0×f′ck以上	1.1×f′ _{ck} 以上
第	P211	図	誤			
8 章		8.1.2		0.8 0.7 0.6 0.5 0.4 0.3 0.2 0.1 0.05 0	13(300mm) 10(1000mm) 19(1000mm) %, D10-D16(300mm) 19(1000mm) 13(300mm) p=0.27%	
			正	0.8 0.7 (WW) 9.6 0.5 0.4 0.3 0.2 4 0.1 0.05 0	□ p=0.65%, D1	10(1000mm) 19(1000mm) %, D10-D16(300mm) 19(1000mm)

第 8 章	P229	右段 10 行目	誤	コンクリート標準示方書では、貯蔵および管理は、プラントの設備に応じた適切な方法によって行うものとし、表面水率は細骨材で5%程度以下、粗骨材で1%以下となるように管理するのが望ましいとしている3)。					
			正	コンクリート標準示方書では、貯蔵および管理は、プラントの設備に応じた適切な方法によって行うものとし、表面水率は細骨材で5%程度以下、粗骨材で1%以下となるように管理するのが望ましいとしている2)。					
第	P308		誤	「9.3 構造力学の基礎」					
10 章			正	「10.3 構造力学の基礎」					
練	P407	問 13	誤	高流動こん					
習問			正	高流動コンクリート					
題	P423	問	誤	水結合材比	空気量	単位水量	単位粗骨材量		
		66		(%)	(%)	(kg/m³)	(kg/m³)		
				55.0	4.5	180	295		
			正						
			11.	水結合材比	空気量	単位水量	単位粗骨材量		
				(%)	(%)	(kg∕m³)	(kg∕m³)		
				55.0	4.5	180	925		
	P429	問 81	誤	感潮部分					
			正	干潮 部分					
解	P443	問 41	誤	1.0×10^{5}					
答			正	1.0×10^{-5}					